

交通拠点整備基本構想検討業務  
第4回 沖縄市交通拠点整備基本構想検討委員会

日時：令和6年6月4日（火）10:00～12:00  
場所：沖縄こどもの国 チルドレンズセンター2階

1. 開会
2. 委員の変更について
3. 報告 1) 前回までの議事要旨について
4. 報告 2) 沖縄市交通拠点整備基本構想（案）に関するパブリックコメントの結果
5. 議題 沖縄市交通拠点整備基本構想の策定について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄県 バス協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討されている基本構想について、実現性も考えて取り組まれていくのか教えていただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実現させるために皆様のお力を借りながら取り組んでいるところであり、引き続き協力していただきたい。</li> </ul> <p>(沖総局 開発建設部道路建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名護市および沖縄市のバスタ整備に向けて、令和6年度、国では調査段階がステップアップしている。基本構想の実現性は十分にあり、沖縄の交通の状況を考えると必要な取組と考える。</li> <li>・ バスタはあくまで結節機能であるため、整備だけでなく、まちの賑わい等をどうつくるか考えていくことが重要である。</li> </ul>
胡屋 大通り会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要となるバスタの広さとして、実際にどれだけ必要となるのか教えていただきたい。</li> <li>・ バスタ事業については、まち側も実現に期待しているため、ぜひ頑張っていたきたい。</li> </ul>	<p>(沖縄県バス協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 速達性の面から上り方面にもバスタ機能が必要と意見した。必要な広さ等については、バス事業者とバスの乗り入れ方や本数等、具体的な調整が必要である。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
一番街 商店街	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環バス、観光バス、高速バスとの連携についての連携も考えているのか。また、他の場所でも乗り継ぎ機能等は必要となるのではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な交通モードを集約し、他の交通モードに乗り換えができるのがバスタだと考えており、循環バスも含めてバスタ内部で乗り換えができるよう検討していきたいと考えている。</li> </ul>
合同会社 イドムス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォークアブルな空間、回遊性の向上はバスターミナルを整備するだけでは生まれない。バスタに期待されることは、まちへの来訪者が増えることである。現在のイメージでは、商店街の中に誘導できない恐れがあるため、アーケード内を歩かせるような配置検討はできないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市としては 40 ページのイメージを作ることを目指しており、商店街に面したところで乗り換えが可能な形にしたい。バスタ整備には様々な交通モードを集約する目的があり、そこに努めていきたい。</li> <li>アーケード内への誘導等は懸念事項として認識している。商店街の回遊性を高められるように引き続き意見交換していきたい。</li> </ul> <p>(沖総局 開発建設部道路建設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市や沖縄県、バス協会、バス事業者と意見交換しながら、必要となる機能を踏まえて検討を進めていく。</li> <li>また、ソフト的な取組を一体となって実施することが重要だと考えている。</li> </ul> <p>(沖総局 南部国道事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>面積の算出にあたり、将来のバス網を踏まえた検討も必要であるため、沖縄県基幹バス構想とも連携していきたい。</li> <li>防災に関する位置付けについて、地域全体でどうするのか今後検討する必要がある。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
池田委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>51 ページ、基本構想実現に向けたソフト施策においては、交通広場が記載されていない。背後地や将来鉄軌道駅による地下とのつながりを考えると機能が不足している印象がある。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見を踏まえ整理させていただく。</li> </ul>
沖縄市 観光物産 振興協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>琉球ゴールデンキングス試合時の沖縄アリーナ周辺では交通問題が発生している。沖縄アリーナ周辺での乗降場が必要と考えているが、県庁前における観光バスの乗降問題について、現在の状況を把握していれば教えていただきたい。</li> </ul>	<p>(沖縄県バス協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘についてはコロナ前から問題として認識している。沖縄県警に乗降禁止について相談したが規制には至らなかった。コロナ後である現在、問題となりつつある状況である。</li> </ul>
神谷委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄本島全体での公共交通のネットワークの中で、胡屋・中央地区バスタの機能、果たすべき役割等を整理し、どう位置づけるか検討が必要である。検討にあたり、沖縄県も入りながら、市民、県民、観光客の移動に関する必要機能について議論していくことが望ましい。</li> <li>バスターミナルを活用してもらうためには、胡屋・中央地区が魅力的な目的地となることも重要である。市民や商業関係者から意見をもらいながら、どのような支援が可能か考えていくことも大切である。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キングスの後の胡屋への回遊増加を狙い、社会実験として夜間バスの運行を実施することを検討している。これによって、人流の変化があるか検証したい。</li> </ul>
沖縄県 バス協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>深夜バスの運行については、酔客を輸送するのは非常に難しいことであるため、それらを考慮したうえで社会実験を検討していただきたい。運転手、添乗員の2名体制は必要と考える。</li> </ul>	

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>沖縄市 観光物産 振興協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キングスの観戦客の 7 割程度が那覇から来訪していることから、空港や県庁周辺からてだこ浦西駅までモノレールで移動してもらい、沖縄アリーナまでのシャトルバスを運行するサービスを実施したが、利用者が少なかった。単発での取組であったため認知度が不足していたと考えており、継続が重要であると考えている。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの取り組みについて情報もいただきながら、手法を検討していきたい。</li> </ul>
<p>沖縄総局 開発建設部 道路建設課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の北部、中部、南部で一体となって、バスの交通をつくっていくことが、沖縄県の公共交通を整備していくうえで重要だと考える。</li> <li>・ 52 ページ、循環バスについて、沖縄アリーナ方面と市役所方面を八の字のルート結ぶ方法や、時間帯でルートを集約すること、乗り合いタクシーを発車していく等の方法があると思うので、社会実験を実施する際に検討していただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄市の地域公共交通計画が改定時期になってきており、コミュニティバスの在り方等について市民に意見を募りながら、計画をつくっていきたい。その計画を踏まえて、胡屋の結節点を形成していきたいと考えている。</li> </ul>
<p>沖縄総局 運輸部 企画室</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街を楽しみながら公共交通を使う魅力的なライフスタイルの提案を発信していくことで、地域住民や来訪者の行動変容に繋げられるよう連携して進めていきたい。</li> <li>・ 住民等のニーズや要望、理想の暮らしを聞き取りながら、それを実現できるものであるということを発信できるよう、住民との対話を大切にしていきたい。</li> </ul>	

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>沖総局 南部国道 事務所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>深夜バスは、沖縄市へ訪れるメリットが無いと利用者が少なくなると懸念している。バス利用者に無料券を配布することやキングスに関連したサービス等のソフト施策も行いながら、胡屋のインセンティブを向上させることが必要であると考えており、商店街やキングス、沖縄アリーナから協力をいただきながら進めていきたいと考えている。</li> </ul>	
<p>沖縄県 企画部 交通政策課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹バス構想のバスレーンを胡屋まで延長することは、これまで進めてきている関係事業者や県警と調整事項を踏まえて、対応していきたいと考えている。</li> <li>北谷では観光2次交通拠点の実証実験が予定されている。北谷からの貸切バスや観光事業者の情報を収集することや、北谷の商店街との連携も検討しては良いのではないかと考えている。</li> <li>51 ページ、商店街組織力強化事業について、商工労働部中小企業支援課で商店街の振興に資する予算を持っているため、意見交換しながら進めていきたい。</li> </ul>	
<p>池田委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の基本計画で検討できるように、ハード・ソフト施策の両方で概念的に広げられるように整理していただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな概念も取り入れて、柔軟に対応できるような計画づくりに努めたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>沖縄市 経済文化部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 ページ、沖縄市中心市街地活性化基本計画について、2024年3月に第3期中心市街地活性化基本計画の認定をいただいた。本計画では10年間で約40事業を実施していく予定であり、交通拠点整備推進事業も据えている。</li> <li>・ 交通に起因する沖縄県全体の社会課題を解決していくことも視野に入れて、沖縄市中心市街地活性化基本計画を策定したところである。</li> </ul>	
<p>胡屋 大通り会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹バス構想が実現する時期を教えてください。</li> </ul>	<p>(沖縄県 企画部交通政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和9年度に山里から普天間(那覇向け)のバスレーン延伸を予定しており、関係市町村やバス会社と連携して進めていきたい。</li> </ul>
<p>合同会社 イドムス (随員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域としてウォークアブルについて勉強会を自主的に実施している。地域が盛り上がらないといけないという認識のもと、商店街関係者や地元住民が一丸となって進めていけるように地域として機運醸成を図っている。</li> </ul>	
<p>池田委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的には提案されている構想(案)の枠組みで良いか了承をいただけるか。</li> <li>・ 事務局で、今日の意見を踏まえた文言の修正や提案事項を反映していただきたい。</li> </ul>	<p>(一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異議なし</li> </ul>